



自己指導能力

校長 財部 幸樹

39日間の夏休みが終わり、今日からいよいよ2学期がスタートします。

7月30日(水)「さいたま市ストップいじめ!子どもサミット」に本校代表として6年の吉田 翼さんが出席しました。吉田さんは今年度実施している本校のいじめ防止に係る取組を発表しました。その後、「ストップ!いじめ」を実現していくために大切なことや一緒にできそうなことを、各小中学校と熱く議論を交わし、スローガンを考えました。今回の経験を基に、他校の実践例などを参考にしながら、1学期から実施している取組の継続・発展を期待しています。

さて、6年生の活躍はこれだけではありません。1学期の終業式と2学期の始業式の内容等を紹介します。



○ 7月18日(金) 終業式

(1) 6年代表児童の発表

※「面倒」とは、手間がかかったり、解決に時間がかかったりするものをいいます。

- ① 面倒※だと思っても、1学期に挑戦し続けたことを教えてください。
- ② 面倒※だと思うけど、夏休みに挑戦し続けたいことを教えてください。

【6年2組 庄司 安里さん】

- ①「予定を見て行動すること」です。

ふれあいリーダーとして、ふれあい会議の予定を見て行動し、「1年生と6年生が共にふれあいタイムを楽しんでほしい」と願いをもって、がんばりました。

- ②「計画を立てて勉強すること」です。

6年生は中学生になる準備期間です。計画をしっかり立てて、自分の力を着実に伸ばしたいです。

【6年3組 杉山 千晃さん】

- ①「代表委員会で積極的に意見を出したり、キャンペーン内容を考えたりしたこと」です。

最上級生として、学校をよりよくしていきたいと、強い思いをもってがんばりました。

- ②「暑さに負けず、進んで運動すること」です。

体を動かすことは健康によいと思います。また、運動不足にならないよう、涼しい時間などを活用して体力アップをしていきたいです。



(2) 子どもたちに伝えた「言葉」と解説

『面倒なところこそ 真剣に取り組もう 人がやらないことに チャンスあり』

誰もが、やるのをためらうような面倒なことに挑戦し続ければ、自分だけの武器となります。誰もやらないくらい面倒なことでも、あきらめずにやり続けていれば、あっという間に自分だけの特長になります。

みなさんも、今回発表してくれた6年生のように、「面倒なところこそチャンス」と捉え、挑戦したいことを自分で決めて、挑戦し続けてみてください。それがあなたの新しい「よさ」になっていくと思います。

○ 8月27日(水)始業式

(1) 6年代表児童の発表

- ① 1学期に決めた目標について、理由と一緒に教えてください。
- ② 2学期、さらにシンカした目標を教えてください。

【6年1組 細金 怜央 さん】

- ① 「最高学年としてお手本になる行動を心がける」です。

理由は、下級生から見られる立場として、あいさつや時間を守ること、優しい言葉遣いなどを大切にし、**みんなのお手本**になれるようにしたかったからです。

- ② 「**自分から行動**し周りを引っばるようになる」です。

2学期はふれあいタイムでも自分から声をかけたり、困っている人を助けたりして、周りにいい影響を与えられるようになりたいです。

【6年4組 中根 咲人 さん】

- ① 「目を見てあいさつをして**相手を元氣**にしよう」です。

理由は、相手を元氣にすることで、原山小がよりよくなると思うからです。

- ② 「目を見てあいさつをして、相手に印象をつけよう」です。

特に「**先に、笑顔で**」あいさつをして、相手がよい気持ちになれるようにしていきたいです。



(2) 子どもたちに伝えた「言葉」と解説

『時々の初心 忘るべからず』

室町時代、能を極めた「世阿弥」が述べた言葉です。「いつも、未熟だった時のこと、うまくいかなかった時のことを忘れずに努力を続けなさい」という意味だそうです。簡単に言うと、できることも増えてきますが、できなかった頃を思い出しながら、**常に挑戦者として頑張り続けましょう**、といったところでしょうか。

みなさんも、今回発表してくれた6年生のように、4月の自分に立ち戻りながら、努力を続けていくことが大切です。そして、その**努力を惜しまない自主性こそが、「学校を楽しむ」につながる**はずです。時々の初心を忘れずに、頑張りましょう。

令和4年に改訂された「生徒指導提要」では、生徒指導の目標として「児童生徒一人ひとりの**自己指導能力の獲得**」が掲げられています。自己指導能力とは、「**深い自己理解**に基づき、『何をしたいのか』『何をするべきか』、**主体的に問題や課題を発見**し、自己の**目標を選択、設定**してこの目標の達成のため、**自発的、自律的、かつ他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行**する力」とされています。

今回紹介した6年生は、**自分自身をしっかり見つめ、目標達成のため実行を続けています**。今後、選択した目標などがイメージしていたものと異なってくることもあるでしょう。その時、自分で修正、決定していく過程がとても大切です。これからも**自分と向き合い続けていく原小の皆さんを、私たちは応援**していきます。

さあ2学期が始まります。1年間で1番長い学期です。つまり、自分を高める時間がたくさんあります。子どもたちには、**志高く進級した4月の初心を忘れず**に、主体的に学びを進め、温かい人間関係を築きながら、学校生活を楽しんでほしいものです。

「学校は楽しい」から「学校を楽しむ」へ、自分から学校を楽しむことができる（「子ども」が主語になる）、実りの多い2学期にしていきたいと思います。